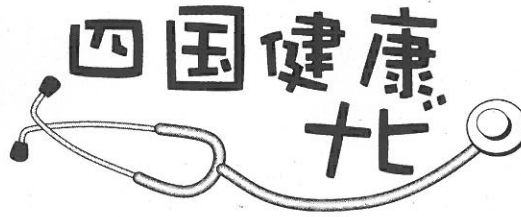


日本人が病院を受診する最も多い理由は腰痛です。しかも、国民の80%が生涯に一度は経験すると言われています。腰痛の原因はいくつかありますが、働き盛りの20〜40代で一番の原因となっている疾患は、腰椎椎間板ヘルニアです。

傷の痛みはとも小さいものです。徳島県内の方ならば手術の翌日に退院が可能です。遠方の方では3〜4日間の入院を勧めます。デスクワークでしたら、1週間以内には職場復帰していただけます。重労働やスポーツ復帰は慎重に行ったほうが良いでしょう。一般的には2カ月後のスポーツ復帰を目指します。手術後に早期復帰で無理をすると、約10%の確率で再発ヘルニアを生じてしまう恐れがあるからです。



徳島大学病院整形外科

西良 浩一 教授

髄神経を圧迫する病気です。腰痛に加え、下肢の痛み・しびれ・筋力低下などの坐骨神経痛も合併します。私も、39歳の時に腰椎椎間板ヘルニアで1カ月苦しみました。確定診断にはMRI画像をお勧めします。

椎間板ヘルニアは今、局所麻酔、8mm切開の内視鏡で摘出できる時代になってきました。経皮的内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術(PED法)と言います。PED法では、局所麻酔のため、術後2時間程度で歩けるようになります。背筋へのダメージは最小侵襲であるため、手術後の

椎間板ヘルニアも内視鏡摘出の時代

2015年3月現在、技術認定医は全国で11人しかいません。安全に行うためには、高度な技術とトレーニングを要します。私自身は、PED法のメッカと言われる帝京大溝口病院整形外科に、10年1月から13年10月まで勤務し、国内PED法創始者である出沢明教授から直接指導していただき、技術を習得しました。

現在徳島県では、徳島大学病院に加え、徳島県鳴門病院、吉野川医療センター、田岡病院でPED手術を受けられます。慢性腰痛や腰椎椎間板ヘルニアでお困りの方、これらの病院で専門医の受診をお勧め致します。